

1. 件名：敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年11月11日（金）17時00分～18時37分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、  
大井安全審査専門職

日本原子力発電株式会社 開発計画室：堀江常務執行役員、齋藤執行役員 他2名  
同 発電管理室： 3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年11月9日提出済>

- ・資料1 今後の説明スケジュール（敷地の地形、地質・地質構造）
- ・資料2-1 調査データのトレーサビリティの確認のための資料サンプル  
（ボーリング柱状図）
- ・資料2-2 調査データのトレーサビリティの確認のための資料サンプル  
（データ修正箇所）

時間	自動文字起こし結果
0:00:09	じゃ、すいません始めさせていただきます。
0:00:13	原子力規制庁野田です。これから敦賀発電所 2 号炉の地震津波に係る適合性審査にかかる面談を始めさせていただきます。
0:00:24	今録音しておりますので、ご発言の前には所属とお名前を言ってからご発言いただければと思います。
0:00:33	そうしましたら、今日は事前にスケジュールとですね、今後の審査の進め方ということで、日本原電の方からスケジュールと、あとは、
0:00:45	資料サンプリングサンプルを、ご提出いただいておりますので、まず初めにこの 2 点について、必要なご説明いただければと思いますけど、いかがでしょうか。
0:00:57	現在の齋藤です。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
0:01:01	今、すいませんご指示ありましたですね、ご用意しましたスケジュールとあと参考すみません、こちらからご説明させていただきたいと思います。ノセの方からですね、
0:01:16	ノセでございます。
0:01:18	それではまず、資料 1 の方から説明させていただきます。
0:01:23	資料 1 としましてはまずスケジュールになります。
0:01:27	左側に項目、今回 3 段階でございまして、一番上が今回の面談の趣旨であります、体制プロセスの構築と、
0:01:38	あと K 断層の連続性評価に関する調査データのトレーサビリティの確保、
0:01:44	あと変更点の説明ということで、
0:01:46	68 分で言いますと 10 本は、
0:01:49	ここに入っています。
0:01:51	その下のテラスの連続性評価につきましては
0:01:55	上のデータの確認ができれば
0:01:59	その審査ということで、弾として入れてございます。で、一番下の 3 条対象破砕体の連続性、活動性評価等と書いてございますが、この中に
0:02:09	囲いの 58 本
0:02:11	含めて、他にもボーリングとかありますけどそのトレーサビリティを確認して、
0:02:17	説明していくという、
0:02:21	間にあります。
0:02:22	まず一番上の資料ですね、今回面談で、7 月はございますが、そのあと、
0:02:30	今回資料 2-1 と資料 2-2 のイメージで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	もしよろしければ、資料としましては
0:02:39	ヒアリング、11月末、
0:02:42	行って、
0:02:45	1週間前には資料提出ということで、資料提出として三角記載してございまして、
0:02:52	ヒアリング、
0:02:54	本解析せん。
0:02:57	うん。
0:02:58	年末に審査会。
0:03:00	これちょっと物量でヒアリング2回になるかなっていうのはちょっと今、この資料1と2を合わせますと大体1000、
0:03:09	100ページカラー1300ページぐらい。
0:03:13	なりますので、一応、
0:03:15	さすがにその物量は2回必要かなということでちょっとヒアリングを2回書いてございます。
0:03:22	スターの、こちらK断層の連続性評価の審査ということで、年、年末の審査会合上がったならその資料提出してヒアリングを、
0:03:34	したいということでちょっと書かせていただきました。
0:03:38	一番下の衛藤産業大賞は臍帯。
0:03:44	の連続性に係る資料。
0:03:47	につきましては、
0:03:49	今は、
0:03:51	2023年度の4月以降ね、
0:03:55	なってしまうということで、
0:03:57	今、点線で、資料作成のところは、書いてございます。
0:04:06	ということでスケジュールの説明につきましては一緒に、
0:04:12	規制庁野田です。スケジュールご説明ありがとうございました。まずスケジュールに関して言うんですけどね、端的にお伝えすると、ちょっと我々、我々が前回の面談でお伝えしたところとですね、
0:04:26	ちょっとイメージが異なってるかなと思います。具体的には、御社のこの資料に白の言葉を借りてですね、お伝えすると、一つ目、1段目ですかね、1段目のところで、体制プロセスの構築と、
0:04:41	あとはK断層の連続性評価に関する調査データのトレーサビリティの確保、変更点等の説明とあるんですけど、その次の段ですね、真ん中の欄に、経産層の連続性評価というものが来ているんですけど、
0:04:56	ここは前回の面談で、管理課の内藤からお伝えした通り、我々としては、猪調査データのトレーサビリティの確保、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:07	あとは変更点の説明、こういったものを、統計断層だけではなくて、残りの5時発行も含めて、すべて聞かないと、こういった形断層の連続性評価であるとか、
0:05:21	その他の3条対象破碎体の連続性というところの審査には、進めるつもりはないということでございます。従って、上の段は、こういう体制プロセスの構築と、
0:05:36	あとK断層ですけど、調達他、
0:05:40	トレーサビリティ、変更点の説明となっているんですけど、その下の段については、これはK断層の連続性評価ではなくて、今野瀬さんから、一番下の段ですかね、の方で説明があった残り58本の、
0:05:54	調査データのトレーサビリティの確保、変更点等の説明、こういったものを、のスケジュール感がどうかというところに、
0:06:04	なるかと思うんですけど、この点はいかがでしょうか。
0:06:14	は、
0:06:18	当県の開発計画書カミヤですよろしくお願いします。
0:06:22	ちょっと確認をさせていただきたいんですけども、今、宇野さんから言われた内容についてはおっしゃってることは、
0:06:32	小学校、理解をしました。
0:06:35	とそうするとですね私もちょっと2年間ぐらい検査対応をしていただいてですね、
0:06:43	審査資料を作ると、審査資料ができた段階で検査をしていただくというようなところがあって、代表的なものを5月にしていただいて、全部一応審査資料ができた段階でっていうことであくまで、
0:06:59	2年前、中、
0:07:03	では、
0:07:06	10月、
0:07:07	30日ですね、柘植ゴトウとなるデータが値段だけ断層の連続性評価をまた説明してくださいという話で、それに関わる資料を一応作ってですね。
0:07:19	それで検査をしていただいたということで、K断層の連続性評価の審査資料一式をですね、一応作っているという状況です。そうしますと今、
0:07:31	長田さんからの話を踏まえると、
0:07:35	あくまで審査が、ご指摘をいただいた令和2年、
0:07:40	でしたっけ、2月7日は、令和2年2月7日ですね、柱状図の赤いのがご指摘いただいた。
0:07:48	ですから、あの時点までのところのデータに関してまずどういうふうに変更を、があったとかトレーサビリティ確保したかっていうのをまず一通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:59	やっぱ植えて、
0:08:01	その上で、K断層の連続性評価、それから審査としてはそのコメント対応、或いは一番下の書いてある30堆砂二重体という形で、
0:08:13	進めていくと、そうそういうご出身で今おっしゃられたっていう理解でよろしいでしょうか。
0:08:19	規制庁野田です。今の点をお答えします。2点あって、まず1点目の、そのデータの確認のところは、その通りです。他方で、データ確認した後に、どうやって、
0:08:34	K断層なのか、敷地内破碎の全部のかわからないですけど、その先どうやって、審査していくかっていうのは、それは、とりあえず、このデータを出してもらって、それから確認してみないと、あと、私はお答えできませんし、
0:08:51	前段のところは別に私がお伝えしたんじゃないなくて、前回の会合で、管理課の内藤からお伝えしたことを、再度私が今日も本社に伝えたと。
0:09:03	ということだけです。
0:09:05	以上です。
0:09:09	現在のカミヤですけど、お話はわかりました。
0:09:14	そうしますと、
0:09:15	今私どもK断層の連続性評価のいわゆるK断層が分布してるって言わんとレンチ近辺とその南方の10本の柱状図を出して十分のボーリング孔間ここに関わるデータの
0:09:30	トレーサビリティの確認、その中で変更があった点ということを確認できているんですけども、
0:09:37	そうすると、残りの部分ですね、さっき清だと柱状図だと、過去にお出ししたのは、残りだと58本分があるということになるので、
0:09:47	そうすると、
0:09:48	それは例えば過去に出したデータのトレーサビリティがどうかと、変更があるのかないのかっていうところをまず、優先的に、
0:09:59	確認するというふうに書いてよろしいですか。ある種の何ですかね、審査の論点に対する説明資料という形で整えるのではなくて、データがどうなるのかっていうところを先に
0:10:14	ご確認いただくと、そういう趣旨と理解してよろしいでしょうか。
0:10:19	あ、生徒がですね。はい。指示としてはその通りでございまして、我々は、ゆくゆくは敷地内断層の活動性評価を行っていくことになるんですけど、
0:10:30	やはりその前提となるのが、ボーリング柱状図を初めとする調査データになりますので、まずはその
0:10:41	調査Dた一式を我々としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:47	一応令和2年の2月に我々のああいう指摘をし、した、さしていただいて、そのあと御社としては、業務プロセスの改善を再構築、改善をされているので、
0:11:00	それに基づいたデータというものを確認した上ではないと確認した上じゃないと、その先には進めないと。
0:11:08	ということでございますので、繰り返しになりますけど、先ほど神谷さんからおっしゃってた通りでございます。
0:11:26	元のカミヤですけど、もう、ご趣旨はよく理解しました。
0:11:31	そうすと今日出した今、ノセ御説明がこの御所今後の説明スケジュール、
0:11:35	ていうのは、またから特に2段目、2段目はちょっとだから、データ全体、過去分を確認した後ですよ、みたいのが基本的な進め方で、
0:11:49	一番下も、こういう3条対象破碎というの表、面倒くさいっていう論点的な書き方ではなくて、残りのデータのトレーサビリティの
0:11:59	確保の確認と、
0:12:01	というようなものがまず優先的に、
0:12:04	審査のとしては確認していただくっていう、そういう流れという理解。
0:12:10	ですよ。それとそういう趣旨で直さないといけないってことですかね。
0:12:17	規制庁の野田です。て体裁は、
0:12:21	何だ目に書くとか、体裁様式は、本社にお任せはしますけど、もう、前回の面談でもそうですし、今日私は改めてイメージ的に、
0:12:33	当方の審査の進め方をお伝えしましたんで、その通りに、これを御社がどうなされるかは別として、なおさらろうが直す前が、もうこの資料、次出てきた資料で、我々は審査会合で、
0:12:49	資料として取り扱うと思いますので、繰り返しになりますけど、我々が考えている審査の進め方というのは、前回も本日もお伝えし、御社は今、それについてご理解いただけましたので、
0:13:03	この資料どうするかは、御社の方にお任せします。
0:13:15	原電の齋藤でございます。今も神谷の方からも確認させていただきましたですね。
0:13:21	すいません規制庁さんのお考えは、今日私ども改めて理解しましたので、
0:13:27	この資料をどうするかも含めて、芝居ですね、検討させていただきます。はい。
0:13:37	規制庁の野田です。スケジュールの方はそういったことで、繰り返しなんですけど、我々の審査の進め方というのはお伝えしましたし、今、
0:13:50	神谷さんからの方も、能登齋藤市長からもご理解いただけたと、いうことですので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:57	これでよろしいかと思うんですけど、御社の方で、このスケジュールについて、他何かございますか。
0:14:07	あ、すみません表現はホリエですけども、
0:14:11	年内に1回審査会合ってお話終わったかと記憶してるんですが、そういう意味で、ちょっと体裁はかかるかもしれませんが、今、今お出ししてる一番上の段の資料、資料の一番上のような、
0:14:24	形で1回、ご説明差し上げて、それで審査の方でしておいていただくってところの考え方はそれでよろしいっていう、
0:14:34	規制庁野田です。はい。その通りでございます、
0:14:39	もうおそらく、3サンプル後でちょっとご説明いただけるんじゃないかと思うんですけど、今堀井さんからおっしゃってます1回目は、このK断層ボーリング工事10個のところ、これは年内に1回やろうと思います。
0:14:53	他方で繰り返しなんですけど、そのあとじゃあ何をやりますかっていうところで、今はそのK断層の連続性評価っていうところが来てるんですけど、そうではなくて、残りの58行の調査データのプレサビリティの確保、
0:15:05	変更点等の説明というものが、次に来るということでございます。
0:15:12	従って、逆に言うと、それがいつごろなのかっていうのをに入れていただければと思い、もしかしたら、この今、いただいている資料の3番目。
0:15:24	一番下ですね、一番下のところだと、2、2023年度以降ってなってるのであれば、それがこのちょうどK断層の連続性評価と、今申し上げたように、
0:15:35	一番上の担当、下の段から真ん中の段、もしかしたら間にこう入ってくるのかもしれないですし、ちょっと下のK断層の連続性評価とか、3条破砕体の連続性という、
0:15:46	記載が必要なかどうかそこはちょっと御社にお任せします。以上です。
0:15:57	元の斎藤でございます。
0:15:59	最初にですね、
0:16:03	すみません、野澤調査官からですね、おっしゃったスケジュールのイメージがNRさんが考えたのと違うというふうにおっしゃったのは、
0:16:13	だからこれ基本的にはK断層の連続性とかそういう、或いは30歳代の審査だとかそういった雪で書かれているけれども、その前段として、
0:16:25	先ほど野瀬が言ったように、ボーリング10本のまず取れ先が確保して説明というのがいいです。
0:16:31	ヤマダの合意の58トンは、確認して進めてもらいつつと、そういう視点で書いてなかったから違和感を、感じられたっていうそういう理解でよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:44	はい。その通りです。いずれしても、このボーリングが1518は別として、まずはこの調査データのトレーサビリティの確保、変更点の説明というものをいただけないと、
0:17:00	その先には進めないということですので、今齊藤市長おっしゃられた通りで、私だけではなくて、管理課も含め、
0:17:09	これ、この資料、
0:17:11	この資料じゃないんですけど、一応、庁内確認してまして、そういうことでございます。理解いたしましてどうもありがとうございます。
0:17:27	はい。そうしましたら今後の説明スケジュールの方は、当方からのコメントというか、市志賀、ご理解いただけたと思うので、
0:17:37	続いて、
0:17:42	サンプルの方ですかね、サンプルの、ごめんなさい資料で言うと資料2と1と2-2の方、これ、ご説明いただいておりますし、
0:17:58	県の小野瀬でございます。
0:18:00	資料2-1と2-2ございまして、その2の1画の柱状図に特化したトレーサビリティの確認の資料サンプルと、
0:18:10	その後ろにの丹羽のDた修正箇所のサンプルということでつけてございます。
0:18:17	まず資料2-1の方から説明させていただきます。
0:18:22	めくっていただきまして2ページ。
0:18:25	こちらの、
0:18:26	通常どのように作ったかとかっていうところを書いてございまして、特に
0:18:31	上から三つ目の四角ですね今回柱状図に、
0:18:36	作成にあたって元となるデータっていうのを記載してございます。コア写真、コア観察からの、
0:18:43	コア観察カードの確認結果、ボーリング柱状図、
0:18:47	これ元となるDたとして扱って、江藤審査資料のボーリング柱状図を作ってます。
0:18:54	あと、
0:18:55	今回、衛藤10本ということで、
0:18:59	対象を、その下の表ですとかその位置図をつけてございます。
0:19:06	めくっていただきまして3ページ、こちらは
0:19:10	作成プロセスになってございます。
0:19:14	はい。
0:19:16	左上から技術検討書と言われるもので、柱状図を作成するための設計要求事項を書きまして、柱状図に関しましては

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:19:27	調達をして作りますので調達文書下の方に行きまして、その下に委託成果物ということで、先ほど江藤元となるデータと、
0:19:38	真崎のんなるコア写真、
0:19:40	あとコア観察カード、コア観察数の確認結果、ボーリング柱状図になります。
0:19:46	それを転記した、作成しましたのは技術研、
0:19:50	旧設計資料のボーリング柱状図になりまして、それをさらに転記して、審査資料のボーリング柱状図ができますと。
0:19:58	いうのを説明したページになります。
0:20:02	具体的にどういう要求したかっていうのは4ページ。
0:20:06	になってございます。
0:20:10	見左上の方あんの。
0:20:13	要求事項でトレーサビリティに係る要求事項ということで赤枠で示してございます。
0:20:19	した2、左下ですね、左下の中の下線の部分これが柱状図
0:20:27	の元となるデータを明確に記載したものになる。
0:20:32	左側が右側が
0:20:35	個別ボーリング柱状図の作成にかかる、
0:20:39	柱状図に係る要求事項ということで、枠をつけております。
0:20:45	その5ページから実際に元となるデータをちょっと抜き出してつけてございます。
0:20:52	まず5ページ。
0:20:53	こちらの元となるデータの中でコア写真と、
0:20:57	今ないまして、今回は
0:20:59	H27-Pの1個を江藤
0:21:04	さんでございます。
0:21:06	この
0:21:07	中には、青枠をつけてございますがこの後後でデータの申請箇所のサンプルの対象箇所なりということで、4074.36から74点。
0:21:19	0ヶ所しか枠で、
0:21:22	つけさせていただいております。
0:21:25	6ページ。
0:21:27	今度は衛藤元となるデータの中に、コア社のコア観察カード、これは
0:21:34	実際につけてございます。
0:21:37	はい。
0:21:38	7ページにいきますと、こちらは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:43	コア観察カードの確認結果と、
0:21:46	ということで、ちょっと字が小さくて申し訳ないんですけど左側は、その前のページでコア観察カードをこれを提起したものになってございます。で、
0:21:58	そのコア観察カードが2号機がないとか、記載として、
0:22:04	足りないかどうかというのを確認したのがその
0:22:07	一つ右側に書いて、適正化すべき記事内容というところを書いてございます。
0:22:15	変えたところ、赤字になってございまして、その
0:22:19	変わったときに、理由を、一番右側の、
0:22:25	別ですね、そこに、そこ、
0:22:28	理由を記載してございます。
0:22:32	8ページを見ていただきます。そう。
0:22:35	こちらも%%カードの確認結果なんですが、
0:22:39	ここの柱状図を作るにあたってコア観察カードと、適正化すべき時によって左側の2行、2列を使って、
0:22:49	真ん中ですね、真ん中の、
0:22:52	報告書柱状図、これを作成してございます。
0:22:55	なので
0:22:57	報告書柱状図を作成して、
0:23:00	まるきりコア観察カードとか、適正化すべき内容を、
0:23:06	イコールではないのでその少し差異があった理由を、一番右側に記載してございます。
0:23:13	この
0:23:15	等報告。
0:23:18	7ページ8ページのところをまとめたものを、9ページでちょっと、
0:23:25	を作成してございまして、私が説明した箇所7ページからの点、1ヶ所と、
0:23:32	8ページから転居一連で示したものになります。
0:23:38	10ページ。
0:23:40	をご覧ください。衛藤。
0:23:43	こちらは、
0:23:46	先ほど最後つくりました報告書柱状図の記事、これを
0:23:50	使って、
0:23:54	調査会社が作成したボーリング柱状数になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:00	これらを用いまして、最後、審査資料として、ボーリング柱状図を作っ てましてそれが 11 ページに示してございます。
0:24:13	を、
0:24:14	ちょっと金額をつけてございますが、これは
0:24:18	江藤作ねいの
0:24:22	電話 3 年の 5 月 19 日にヒアリングを一度行っているんですけど、ちょ っとそのときに柱状図を出してございまして、そこからの、
0:24:32	本校ということで少し黄枠はつけてございます。
0:24:40	あと、ボーリング柱状図のサンプル
0:24:45	は最初、
0:24:47	以上になります。
0:24:49	綴ってよ。
0:24:57	規制庁戸田ですご説明ありがとうございます。そしたらさっき、1 回、 資料 2-1 のところで、切らせていただいて、少しご説明の内容につい て、事実確認させていただければと思います。
0:25:13	センターのカイダです。
0:25:16	この資料はどうこうっていう、
0:25:19	ことではなくて、
0:25:20	ちょっと記載の確認をさせていただきたいんですけど、まず、審査資料 作成プロセスっていう
0:25:30	フローチャートみたいなものがついてまして、
0:25:33	その工事は
0:25:34	ボーリング柱状図っていう、コア観察カード委員です。
0:25:39	ボーリング柱状図っていうのが、左下の箱の中にあって、転記と書いて あって、技術設計資料のボーリング柱状図。
0:25:49	さらにそれを転記して、
0:25:51	ボーリング柱状図審査資料のものができるとい、この書きぶりはさ、 三つ、ボーリング柱状図が出てくるんですけど。
0:26:02	そのあとの資料で出てくる。
0:26:07	と、例えば、
0:26:09	報告書柱状図っていうのを、まずコア観察カードから報告書柱状図って いうのができるかというのは、
0:26:17	後の、
0:26:20	ここで説明されてるんですけど、
0:26:23	報告書柱状図っていうのはこの、このフローチャートでいうところ、ど こに当たるものになるんでしょうか。
0:26:31	近野百瀬でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	報告書柱状図はですね 3 ページのこのプロセスの中で言いますと、衛藤。
0:26:40	左下に委託成果物がありましてその中にボーリング柱状図とあります。これが報告書柱状図になります。
0:26:53	はい、甲斐です。わかりました。
0:26:56	そうすると、さらにそれを転記した。
0:27:00	技術設計資料のボーリング柱状図っていうのがあると思うんですけどそれは、
0:27:08	あの子の 6 ページ 7 ページとか育ったりっていうと、
0:27:16	どこに対応するのかっていうのを教えていただきたいんですが。
0:27:24	県の野瀬でございます。
0:27:27	はい。6 ページ 7 ページ。
0:27:34	ちょっとひょっとしたらページがずれてるかもしれないんですけど、
0:27:40	まずコア観察カードから、サンプル例で、
0:27:44	報告書中、標準記載、
0:27:47	チェックシートっていうのが、
0:27:49	あると思うんですが、
0:27:53	はい。コア観察カードの記載はこうです。
0:27:58	いろいろ適正化すべき記事の内容っていうのが、
0:28:03	赤字であって、はい。これはコア観察カード。
0:28:08	報告書柱状図の記事を作るにあたっていろいろ、こういうところが変更になりましたとか、そういうところははい、はい。
0:28:18	次のページで報告書柱状図が実際、
0:28:22	こういうふうになりますっていうのが、
0:28:25	会見あって、
0:28:29	と、報告書柱状図までは出てきて、
0:28:33	さらにその次のページは、
0:28:35	ボーリング柱状図調査会社作成、これが多分報告書柱状図。
0:28:40	だと思んですけど。はい。この後、審査資料のボーリング柱状図になって、はい。そうするとさっきの技術設計資料の、
0:28:50	ボーリング柱状図っていうのは、ここに、
0:28:53	ないんですけどそれはどういう、この中で位置付けになってるのかっていう、
0:28:59	確認したかったんですけど。
0:29:22	元ノセぐらい。
0:29:24	あと、衛藤ですね今。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:31	もう一度整理しますと3ページの
0:29:34	左下の委託成果物、
0:29:36	が四つ書いてございまして、
0:29:39	この写真が、5ページにあたる、
0:29:43	ね。
0:29:44	コア観察カードが6ページに書いてございまして、コア観察会の確認結果、これが7ページ8ページ。
0:29:53	なります。9ページはちょっとわかりたので、わかりやすくていうことで合体させたもんなんですけど、
0:29:59	ね。
0:30:00	衛藤。
0:30:02	コア委託成果物額のボーリング柱状図、これが先ほど申した10ページ。
0:30:07	になります。
0:30:09	はい。
0:30:12	そのネタを使って牛設計資料作るんですけど今、高校のサンプルでは、
0:30:18	これは
0:30:22	書いてございまして、一番3ページでいうと右下ですね一番最後の審査資料ボーリング柱状図。
0:30:32	できますっていうのが、最後の11ページ。
0:30:40	はい、わかりました。だから、
0:30:42	最後の方のページ見ると、5人。
0:30:46	調査会社撮影の報告書柱状図がこうです。審査資料は、ほぼ柱状図はこうですっていうのが、
0:30:54	あるんですけどその間に、
0:30:57	1回技術設計資料のボーリング柱状図というのが本当はかんでるけどそれは今ここについてなくて、それは内容的には転記してるから、もう全部一緒ですよとか、
0:31:07	そういう意味ということでもいいですか。
0:31:12	山本です。その通り。
0:31:15	わかりました。ちょっと
0:31:17	いろんな言葉が出てきて報告書柱状図というのが、後ろの方だと、調査会社撮影柱状図と、
0:31:24	あと言葉の統一がないのと、こういうフローと、今出てくるボーリングの数が足りなかったんでちょっと
0:31:33	どういうふうになってるかっていうのを確認させていただいた次第です。一応そういうものだっていうところは、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:41	以上です。
0:31:57	市町ノダですけど、
0:32:00	私はちょっと細かい内容というよりも、これはサンプルの一つとして、ボーリング柱状図を今日お示しいただいて、
0:32:12	あと理解していて、
0:32:14	資料の4ページ、4ページ。
0:32:18	左上のタイトルが技術検討書、老朽ってなってるページ。
0:32:23	なると思うんですけど、これを下に基となるデータの明確化ということで、7ポツで、(1)、
0:32:32	から(11)までがあって、この資料というのはこの(1)のところのごく一部をサンプルとして、ご提示いただいたと思うんですけど、
0:32:44	向こうから残りの許斐から、
0:32:47	違うか2から11じゃないかな、2から11のうち、
0:32:53	あれかな、9と11断層が、区分の評価のところを除いたものは、今ご説明いただいたように同じような整理をされてるってということですか。
0:33:15	元同じような整理というのは、例えばその基となる
0:33:22	この括弧係り(2)だと括弧じゃ今、
0:33:27	提示していただいたんですけど、括弧にも、もう、元となるデータ、ここに書かれてるものですけどこういったものが、
0:33:36	整理されてるも取られたってもちろんその新しい経営体制のもとの元となるデータというものが、整理されてるってということによろしいですか。
0:33:49	現在はノセでございます。その通りです。
0:33:52	4ページ自体がちょっと全体の、本当
0:33:58	技術設計資料の中で、ボーリング柱状図に関わる箇所を抜き出したりですとかちょっと、下線引いでもございまして、例えば(2)ですと、これスケッチ
0:34:11	も別途作るにあたって、基となるのがこれですと、で、
0:34:15	衛藤。
0:34:17	この4ページの右側の個別の要求事項、これも、スケッチって一番上の(1)のところにはボーリング柱状図ってなってるんですけど、これが(2)スケッチって書いてあって、
0:34:28	同じように要求事項をうたって書いてあって、今回、
0:34:32	それに対して基となる。
0:34:34	だから、
0:34:35	作られてると。
0:34:37	そういうのがずっとこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:40	項目、整理されてございます。
0:34:49	規制庁野田です。ご説明ありがとうございました。はい。理解しました。我々としては、新しい業務プロセスに基づいた、
0:35:02	基となるデータ、あとは基となるデータをベースとして作られたアウトプット、(1)でいうと、最後は審査資料のボーリング柱状図。
0:35:14	いう構成になってると思うんですけど、こういったところが確認できる資料をご提示いただきたかったのが、サイクルはサンプルで理解しましたし、それ以外の2から11のところも基本的には同じ考え方で、
0:35:30	整理されているということが確認できたのと、あとは、
0:35:37	この(1)もそうですし、残りの(2)から11のところは、これも例えば、すでにもう整理が進んでいて、例えば、
0:35:48	もう資料出してくださいということになれば、それはもうす。
0:35:53	すぐっていうか、来週とかにも出せるものなのか、ちょっと整理と、準備の状況を確認させていただければと思います。
0:36:06	県の百瀬でございます。
0:36:09	佐藤。はい。
0:36:11	こちら
0:36:13	江藤、直径断層の連続性評価麻生角絞ってなんですけど、
0:36:19	この(1)から江藤(11)まで、
0:36:24	の
0:36:26	整備、
0:36:27	柱状図と同じように、元となるデータがこれですと。
0:36:31	最後でき上がりができ上がり、
0:36:36	下の、
0:36:38	あと(3)から、
0:36:43	11までは、実際にでき上がりといっても中庸みたいなものができるというわけじゃなくて、最終的に、
0:36:51	編さん右ですとか、ちょっと返済する幅だと、ガウジがあるないとかそういう資料、資料とか、
0:37:01	でき上がりというか、ものになってるんですよ。データになっちゃうんですけど。
0:37:06	その元は何ですかっていうのが、整理はできてる。
0:37:10	いう形になります。
0:37:16	規制庁宇田です。で、整理ができていて、もう例えば、印刷する準備っていう観点ですけど、もう印刷すればいいだけの状況になってるっていうことですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:27	発見ノセでございます。はい。衛藤そうですねK断層の連続性に関しては、それもでき、できてるといった状況にあります。
0:37:35	よろしいですか。
0:37:37	お願いします。現在、
0:37:40	券面カミヤですけど、この辺ちょっと誤解があるといけないんですけど、基本的に野瀬が申した通りで、それはつまり、県9月までの検査の時には、もちろん抜き取りの確認をしていただいたので、
0:37:56	すけれども、県サーで確認いただくために、そのための調査会社が作成いただいたもの、技術設計資料として作ったもの。
0:38:07	そして審査資料の形にしたの、それ自体は、あるわけですねすでに、はい。
0:38:15	ただ審査部門さんにですね、確認いただくために、
0:38:21	何か体裁をどう整えるかっていうようなところは、
0:38:24	例えばですね今日の今ご覧いただいてる、
0:38:27	4ページのようなですね、こういう、ある種、技術設計、ごめんなさい、技術検討書の要求事項がどうかっていうのは、これはちょっと9月の検査の公開会合のときにも同じものを使っていましたので、
0:38:41	こういうものはすぐにあるんですけども、他のさっきの(2)から以下のところで、同じようなものを用意するという点に関して言うと、
0:38:52	そこは1週間とか10日とかですね。だからその辺のちょっと、
0:38:57	とりあえずあるものでヒアリングをしていただけるといえるところがあるとすぐ印刷すればみたいなどころあるんですけど、ちょっとそこのところの、
0:39:07	よく理解をし合いたいなところがあります。何とか、あくまで検査の時にはですね、当時の方にお越しいただいて、ご配慮並べながら確認できるという状態でそういった整えていたわけですけども、最終的にヒアリングやって審査会合という
0:39:25	ところにするにはですね、何か一定の
0:39:29	何か形を整えるみたいなどころはあるかなとは思っていて、
0:39:37	はい。
0:39:41	規制庁の織田です。はい。神谷さんのご説明、わかりました。つまり、(1)はこういった形でボーリング柱状図ということもあって、ある程度、
0:39:54	何ですかね全体の流れも通してわかるような形で、パッケージされてるんですけど、2以降のところは、先ほど具体的に例示挙げられましたけど、4ページのようなものがまだ準備できていなかったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:40:06	するっていう、そういうことですか。具体的カミヤですけど、具体的なそういうことなので、もちろんだからそれにその1週間とかもね、4ページみたいなものを作るの1週間もかかるわけじゃないんですけど、
0:40:19	物だけ、すぐに用意しろって言われればそれは来週の初めにもできるわけです。よろしいですね。はい。
0:40:28	ちょっと補足しますとですね、ちょっと品証的に言うと、
0:40:31	検査では
0:40:33	設計開発のプロセスだとか、或いはそのあと審査資料の作成までの外部コミュニケーションとられてますけどそのプロセスとかもあわせて見ていただいて、ご確認いただいたんですけど、
0:40:44	私ども審査のたて出すにはですね、これ設計開発のプロセスは全部やってるんですけども、外コミュニケーションって言って審査しようとして、ちゃんとそれを
0:40:54	審査に供するものとして適切だとかどうかっていうそこ、ちょっとまだ統一できてないところがあるんですね、ある程度どういうことかというところ先ほど例えば4ページみたいなものを改めて作ります。
0:41:07	と、こんなの30%が済みますよねっていう話ではなくて、やはりそこがやっぱりちゃんと品証のプロセスを、やんなきゃいけないってこともあるので、そういったことに少しちょっと、
0:41:19	若干ですけど真島。
0:41:25	C友田です。
0:41:28	はい言われてることは、わかりましたけど、例えばそうすると、またさっきのすいませんスケジュールに戻って恐縮なんですけど、資料1のスケジュールの中では、
0:41:40	11月の下旬あたりに資料提出と書かれているんですけど、
0:41:47	これは
0:41:50	そういった審査資料としての
0:41:55	何ですかね、プロセスを経たものが出てくるのか、もしくは、そういったものがまだ、
0:42:04	何ですかね、
0:42:07	追加され、追加というかそういったものをプロセスを経ていないものが出てくるのかそれはどちらのことをこの1、資料1の資料提出はいんと示されてますか。
0:42:19	はい。原電カミヤですけども。
0:42:21	富永さんすいません。そしたらですね、一旦、資料2-2の方もご説明させていただいて、つまりそれはちょっと柱状図は、
0:42:32	コア観察カードベースで作直してきたというようなところもあるので、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:39	体裁的に違います。他の各調査データっていうのの変更箇所の一つのサンプルってのは今日、資料2-2の方で用意してきているものですので、
0:42:53	ちょっとそちらもご説明させていただいた上でちょっとそのスケジュール感というか、その確認をさせていただいた方がいいかなと思うんですけども、日本一あります。
0:43:05	日本中で、今、こういうスケジュール感とか関係ないところで、
0:43:10	確認しておきたい、なければ、今、神尾さんおっしゃるというふうに思っ
0:43:19	て、
0:43:19	規制庁ノダです。そうしましたら今ご提案あります通り資料2-2の方でご説明いただいてよろしいですか。
0:43:34	原電の小野瀬でございます。それでは資料2-2。
0:43:37	の、説明させていただきます。
0:43:40	これはデータ修正箇所と、
0:43:43	いうことで、
0:43:45	先ほど、ボーリング柱状図のところ、青枠を囲った部分。
0:43:52	も対象に、データを抜き出して、
0:43:56	サンプルとしてございます。で、まずめくっていただきまして2ページ。
0:44:01	こちらのどういう資料。
0:44:03	かっていうところを書いてるんですけど、この中のページの真ん中の2ポツ目。
0:44:10	あります。
0:44:12	衛藤。
0:44:13	原子力規制検査の実施状況等を踏まえて、審査資料にかかる業務プロセスを再構築し、調査データのトレーサビリティの確保のための確認を実施した。
0:44:25	これに伴い、従前示していたデータから修正が必要となった箇所について、
0:44:32	取りまとめた。
0:44:33	いうことで、
0:44:37	めくっていただきまして3ページそれが取りまとめたもの、3ページはちょっと表紙なんですけど4ページ。
0:44:47	多分、これが一覧表になります。で、
0:44:52	これは一覧表の中の、
0:44:54	今回対象とした青枠をつけてございますが2の中に-20っていう箇所の配置27。
0:45:03	のPの1項、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:05	74.36メートルから74.45メートルの破砕部のデータになります。
0:45:12	この変更となった箇所、
0:45:15	の変更というのは
0:45:17	DOWA2年の2月7日の第833回の審査、審査会合の資料。
0:45:23	及び、令和3年の7月16日の、
0:45:28	提出した資料、ここの絵と値かが変わった。
0:45:33	香港となったところを抜き出して一覧表にさせていただきます。
0:45:37	ここですと、
0:45:39	3段ありまして、走向傾斜と、条線。
0:45:45	あと変位センス。
0:45:47	これが
0:45:50	変更になってございます。
0:45:51	はい。
0:45:52	以前、その右側にエビデンス資料はどういうものをつけるというのと、その修正の理由を、一番右側に書いてございます。
0:46:04	これのそれぞれのエビデンスを後ろにつけてございまして、5ページから、
0:46:11	7ページですねこの3ページが、
0:46:15	走向傾斜の、
0:46:17	今回修正するにあたって、ご意見等して、実際に、
0:46:25	寄贈者というか前回の資料、数値からこう変えましたというノセ、書いたエビデンスに、
0:46:32	なっております。
0:46:39	8ページ。
0:46:41	こちらが条線。
0:46:45	あと観察して、今回買う。
0:46:48	あったところの阿藤エビデンス。
0:46:51	この8ページが条線がエビデンスになってございまして、
0:46:55	江藤9ページ10ページ、こちら、
0:46:58	フェンスに関する件数なんですけど、ちょっとこの中には
0:47:03	戸田相馬君も一緒に、
0:47:06	エビデンスとしては、しゃべっておりますので、建設に関わる部分だけ、今、9ページのところは青枠をつけてございまして、
0:47:16	ここの部分が、源泉数に関する
0:47:21	ないですか。
0:47:22	ということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:26	今回サンプルとしてお持ちしました。
0:47:37	北田です。ご説明ありがとうございました。今野瀬さんから、右下のページで補足5-3の2ポツのところをご説明いただいたんですけど、
0:47:50	これは対象となってるのは例えば上の1ポツですと、1行目の中程から後に、今回提出10行のボーリングっていうことで、工数がしっかり
0:48:01	明示されてるんですけど、この2ポツの基本は、1ポツと同じで、K断層に関わる事項のボーリングが対象になってるっていう理解でよろしいですか。
0:48:10	年齢の申し訳ございません。その通り、10行の中でとらえて破砕部、
0:48:17	なんですけど、そのときに出た長
0:48:21	破砕部情報ですかね、ベーター。
0:48:25	それは対象、
0:48:27	あとK断層、それがあある意味K断層の連続性評価のに使われてる資料になるんですけど、
0:48:35	はい。
0:48:36	ここにあります以上です。
0:48:40	シートの場合です。はい、わかりました。そうすると、
0:48:44	この、ちょっとまだ理解がおよんでない部分もあるんですけど、基本的にはこの2ポツのところ、
0:48:54	これまで審査会合で提出していただいたデータ、
0:49:02	について、今回新たに構築された業務プロセスで、確認を実施したところ、変更があったものを取りまとめた。
0:49:15	いうことで、
0:49:17	理解よう合ってますか。
0:49:22	はい。申し訳ございません。
0:49:25	はい。その理解できます。
0:49:27	よろしいかと思えます。
0:49:30	その変更のその起点というか、
0:49:33	比べてるものは先ほど4ページ、
0:49:37	そうだろう。
0:49:38	令和2年の2月なのかの、
0:49:41	審査会合で出した資料に記載されている。
0:49:44	赤井とか、
0:49:46	もしくは
0:49:47	昨年ですね令和3年の7月16日に提出した資料。
0:49:52	この書いてある数値から変わってるものを整理して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:57	一覧にさせていただきます。
0:50:01	規制庁野田です。ご説明ありがとうございました。はい。
0:50:06	そうですね今能勢さんからご説明いただいたこの 40 ページのこの誤った記載の資料のところで、規定をどこかということ、この資料上は 833 回とか、あとは、
0:50:19	令和 3 年 7 月っていうことを規定にしてですね、多分厳密なこと、厳密に言うと、
0:50:25	何だろうな、そこで変わったものもあれば実はその前でもう変わってたけどこの今の 833 回を規程にするとこういう整理になるっていうそういうことですよ、現実には。
0:50:38	言ってるのわかりますかね。
0:50:39	すべてがすべてこの 833 回のところで変わったものじゃなくて、実は、本当は、もっと前の審査会合で変わってたんですけど多分それ以降変わってなくて、833 回から変わったってそういうことですよ。違う。
0:51:00	前例ノセでございます。
0:51:07	県はあくまでもここに書いてある起点でして、833 回の前に、
0:51:13	誤記がありますねって話で、
0:51:16	この前のところで、
0:51:19	前のところろろにつきましては、その中で調べて、誤記を、
0:51:24	しっかり話しましょうと言って、ただし、
0:51:28	他のが正して出したのが 833 回。
0:51:32	になってございまして、
0:51:34	ね。
0:51:37	まずその 833 回。
0:51:41	かなりの、
0:51:43	本校というふうに整理してございます。
0:51:48	友野です。言われてることは、
0:51:52	わかりましたし今こういう整理をされているので、多分ここで細かい話をしていただく。
0:51:59	仕方がないんです。はい。わかりました。御社としては、この資料上では基本的な 833 回と、令和 3 年の資料、
0:52:08	提出資料を規定に
0:52:13	修正修正後かかっているって、そういうこと。
0:52:17	わかりました。あとは、結局、あとは、これはちょっとか。
0:52:23	そうですね、資料でいうと、
0:52:27	うん。
0:52:32	藤。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:35	補足の 53 かやっぱり、補足の 5-3 の 2 ポツのところ、と書かれてる、これ結局修正箇所とすれば、全体出してもらえばわかるんですけど、結局、幾つ。
0:52:45	具体的には
0:52:52	つまり、私が知りたいのは、
0:52:56	今、ごくごく一部を、能勢さんから補足 5-40 に基づいて、説明がされて、ここには、修正の内容ということで、こういった麻痺
0:53:08	修正、一つの方の中でも、走向傾斜情勢、運動センスという形で修正がなされているんですけど、結局、こういう修正がトータル幾つに、
0:53:22	なったか今、お手元に資料があれば、
0:53:26	確認しておきたいんですけど、これは、
0:53:32	そこの表で、今回、三つ説明しましたがそれを今、1 個として、2-20 ってか、カウントはしてるんですけど、
0:53:42	それ言いますと 2 の、
0:53:44	70 までこう続い
0:53:55	市長の野田です。ご説明ありがとうございました。
0:53:59	どの、どの括りを一つの何ですかね、修正箇所とするかっていう、定義の問題なんで、
0:54:08	この資料こういった資料上では今の整理の資料上では一応 2070 という番号がついているということで、はい。とりあえず、
0:54:17	わかりましたけど、
0:54:19	他何かありますか。
0:54:24	カイダです。私もちょっと資料、この資料の見方とかを確認したいんですけど。
0:54:32	今、こっちの 2-2 の資料の方っていうのは、この
0:54:38	さっきの補足 5-40
0:54:41	整理の表でいくと、
0:54:44	前回、
0:54:47	とかのヒアリングとか、833 回審査会后、
0:54:52	から変更があった場所っていうのはこういうふうを示してあるっていうのが乗かって、
0:54:58	2-1 の方は、そうじゃなくて、
0:55:02	前回からの変更がなく、
0:55:05	今回、
0:55:07	新しい品証でやったときに、
0:55:12	もとの、元となるデータから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:15	どういった審査資料のボリューム急上昇ができたかっていう、なんかその、
0:55:21	そこの過程が示してあると思うんですけども。
0:55:25	何か気を比較してる対象が、
0:55:29	2-1の方は今回の品証の中でどう変わったかで、南の方は、
0:55:36	今回の品証の中でっていう話じゃなくて、
0:55:40	前の資料との比較で、ここがこう変わりましたっていう説明だと思うんですけど。
0:55:48	これは
0:55:50	住まいは、
0:55:52	この2-2の資料で、今回修正後って書いてあるものっていうのが、
0:56:02	ていうのの何とかあたりとか、実際っていうのは、
0:56:08	この2-1の資料的なものっていうのは、あるのかないのかっていうのがちょっと、
0:56:15	言いたいんですけども。
0:56:20	本人のノセでございます。
0:56:29	2-2の方もこちらの
0:56:32	データ集になりますので、
0:56:35	審査資料で言いますと、性状一覧表みたいのが本件についてですけど、それが
0:56:45	柱状図でいうと柱状みたいなものになります。
0:56:49	江藤薄片ですとか断層の区分に関してはそれ1000円専用というか、柱状図みたいに資料にして、
0:57:00	トマトを取りまとめて、
0:57:02	おります。
0:57:04	ちょっと私から、
0:57:06	家族、
0:57:07	現在のカミヤですけども、
0:57:13	資料2-1のようにですね、まとめることも可能なんです。
0:57:19	ただ柱状図は仮に記事欄に特化して言うと、何か1個1個比較するというより、元となるデータをそのままきちんと書いてプラス各課、確認結果でちょっと追求してる場所もありますっていうところがありますので、
0:57:36	今日の2-1のような形でサンプルとしてまとめさせていただきました。で、資料2の2の方のですね、4ページ、補足5-40ページというところに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:50	このデータセンターの走向傾斜だったり、条線だったり、変位センスだったり観察データとなるようなものがそれぞれあるわけなんですけども、
0:58:00	それについても、2-1のような形でサンプル、つまり元となるデータ通りですよっていう対比で作ることは可能なんですけども、
0:58:11	この2-2-4ページのようにですね、
0:58:14	ある種、ちょっと玉突き的に変更になったりするような正確なところもありますので、
0:58:20	我々この2-2の4ページのようなまとめ方をした方がわかりやすいかなということで、変更箇所をこういう形で整理しています。それぞれの変更のエビデンスを、
0:58:33	藤、三野2の5ページ以降にですね、付ける形を今日はサンプルとして提示させていただいたと。
0:58:42	ということで
0:58:45	II、はい。
0:58:48	はい。
0:58:49	わかりました作ってくださいっていうわけではなくてちょっと
0:58:54	要は
0:58:55	次元が違うものを比較してあるような、
0:58:59	形だったんでそのどういうふうな対応になってるのかっていうのは、
0:59:05	確認したかった。
0:59:07	ところです。
0:59:08	そうするとこの、
0:59:11	こっちの2-2の資料のこの一覧のエビデンス資料っていうところに括弧書きでいろいろ書いてあるんですけど、これが、
0:59:22	どっかのさっきの資料であった、元となるDたの項目、要は(1)から(11)。
0:59:29	対応してると思っていいですかそれとはまた別になるんでしょうか。
0:59:34	エビデンス資料っていう案で、
0:59:36	麻生公啓さん、薄片観察結果とか、
0:59:40	条線観察結果とかあるんですけど、
0:59:44	これは(2)とかから(11)の元となるDたと対応してるのか、また、
0:59:53	別のくくりの、
0:59:55	内容なのか。
0:59:58	そこをちょっと確認したい。
1:00:01	県の百瀬でございます。
1:00:03	例えばですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:00:08	元となるDた
1:00:11	と、持ってきて貼ってございます。なので、例えば
1:00:16	2-2の資料の5ページ。
1:00:19	から7ページは、これからの
1:00:26	2-1-4ページの、
1:00:30	層厚
1:00:32	者の(4)ですかね、(4)の
1:00:36	衛藤。
1:00:38	ここについては、
1:00:43	帰られたらわかりますじゃここういったエビデンスっていうのは実際、先ほどおっしゃったように、どっさりある中に入ってるということ。
1:00:52	この項目ごとに置かれて入ってるのはこのエビデンスっていうことで、あ、わかりました。
1:01:00	それともう一つあれ。
1:01:07	そこのエビデンス資料のところ今、今ほどの括弧1から11に対応してるっていう。
1:01:14	お話で、
1:01:18	当然2-1で説明されたように中図の記載も変わってるところとかあると思うんですけど、この表に柱状図はもう入ってない。
1:01:30	ですか。今、
1:01:33	パッとこの表を見た限りでは見えないんですけど、
1:01:37	9条はこういう柱状図っていうのは、
1:01:41	あるか。
1:01:43	A p pない。
1:01:46	ちょっとこの通常する際の変更箇所も入ってるのかなっていうのはちょっと。
1:01:53	教えてください。
1:02:00	全然ノセでございます。柱状図に関して、
1:02:05	今回作り直しの事案なんですけどこの2、2ポツの前に1ポツで書いてる
1:02:11	ございますが、
1:02:13	それがちょっと柱状図関係で取りまとめたやつがございまして今回
1:02:19	柱状図のところ、
1:02:22	入れてなくてですね
1:02:25	なので、1ポツに本人柱状図のへ、ごっことかあれで変わったっていうのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:33	書いてあるんですけど。
1:02:37	けど、
1:02:39	1の2-1ページの最後の11ページを見ていただくと、
1:02:48	わかりますように
1:02:53	この11ページの枠がついているところは前回から出したところの、
1:02:58	発行箇所を枠で、
1:03:01	前回ってのは令和3年の5月19日に柱状図出してるんですけど、そこからの規約をつけて、
1:03:09	ますが、
1:03:11	衛藤。
1:03:15	これを1個1個表でまとめたとかそういうこと。
1:03:19	をしてるわけではない。
1:03:21	ですけど、
1:03:23	わかりました規約で今、全国箇所があると。
1:03:30	先ほどおっしゃってた
1:03:33	2-2の資料の、この
1:03:36	スポーツスポーツっていうのは、そうすると今、
1:03:39	今ちょっとサンプルがないんでわかんないんです。
1:03:43	1ポツの方で、柱状図の変更箇所は、1ポツの方で整理されてる。
1:03:50	というのは、それが今おっしゃった2-1のこの最後の企画っていうことでしょうか。
1:04:07	はい。すいません柱状図が前回っていうか、
1:04:11	から変わった箇所っていうのが、どこがどう変わったかっていうのを市規律できる終了分以外の記載は、2-2のこの表で、この一覧で見てわかるんですけど、
1:04:22	柱状図は、この2-1の資料見たら、今回の作成プロセスの中で、
1:04:28	どういうふうに伝えたかっていうのわかるけど、
1:04:31	前回から、どう、どう変わったかっていうのが、何かわかるようなものがあるのかっていうのを、
1:04:39	確認したかったんですけど。
1:04:43	現在のカミヤですけども、柱状図に関して言うとですね、830、
1:04:53	3回、
1:04:54	ですかね
1:04:57	ご決議個別のご指摘を受けた。
1:05:00	常盤の審査資料でお出ししてた柱状図という中には、まさにご指摘を受けた固結未固結という表現であるとか、或いは変位センスであるとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:12	つまりいわゆるボーリングコアのを、通常に不安感謝する以外の情報も、いろいろこの柱状図の基準に変えていました。
1:05:21	今回は、
1:05:23	今日の資料ですと 2-1 の、
1:05:31	4 ページですね、ちょっと抜粋になっちゃいますけども、
1:05:35	要求事項を改めて、つまりコアを掘削した直後のに不安観察の記載にするという形で、かなり修正が記事欄の修正ということでもかなり、
1:05:50	833 回は固結未固結とかもあたりとか或いはある種コンパイルしたような記載になっていたものですね、当初に監査をそのままにしましたので、なかなかこう比較という形でお示しするのが、
1:06:04	難しいので、間野世良もおっしゃる通り 2-1 のですね、11 ページに、
1:06:09	一応変わってるとかこういう規約とかではつけてはいるんですけども、
1:06:16	ご確認いただく場合には今日の資料でいうと 2-1 の 6 ページのコア観察カードから、というような形で、肉眼観察結果が、
1:06:28	あとそのまま審査時の柱状図の方にも行ってるっていう形で、
1:06:34	ご確認いただく、
1:06:36	ことが適切かなという形で今日のサンプルは整えて、
1:06:41	いう趣旨でございます。
1:06:43	はい、わかりました。一応この柱状図の規約で識別できるように成立され、
1:06:50	今おっしゃったのはもうガラポンになったので大きなたくさん変わるところあるので、
1:06:58	あとなかなか整理しづらいついていうところもあったと思うんですけど、
1:07:03	833 回を起点にしたら、
1:07:07	そうかなと思うんですけど、7 月 16 日、5 月、そこはもうすでにある程度っていう空っぽになった後の、
1:07:17	が出てきてたのかなと思ったんですけど。
1:07:20	そそことの比較っていうのは、
1:07:23	そのじゃなくてこの規約は、
1:07:26	7 月 16 日からの、
1:07:29	現行の 1.0×13、令和 3 年度までは、
1:07:36	ノセでございます。電話 3 年の 5 月 19 日にヒアリングをちょっとさせていただいているんですけど、その時に柱状図を出してございまして、
1:07:46	そのときは、その前の、
1:07:51	6 月 32 日は、6 月 4 日とか 10 月 30 日で、
1:07:56	6 年とか元となるデータが、
1:08:01	コア官ですとか報告書柱状図ですっていう説明をして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:06	それを元に作りまして作ったのが、令和3年の5月19日の柱状図になって、
1:08:14	そんな時はもうそれですってそのまま書いたんですけど、今回は、
1:08:17	新しく構築したプロセスをもとに、コア間がそもそもそれでいいかどうかを確認した上で、今回作ってますとやって、そうするとこの起爆は、
1:08:29	令和3年の5月19日、
1:08:34	と比較したときに、変わってる箇所に木杵をつけてございます。
1:08:43	はい。はい。
1:08:45	はい、わかりました5月19日こっからの変更箇所が900、
1:08:51	うん。
1:08:54	ちょっと講座は、すいませんじゃ833回から5月5月19日。
1:09:01	うん。
1:09:02	どこがどう変わったかっていうのっていうのをなんか一覧表でもらっていたんでしたっけねちょっとすいません、もうこれじゃなくて、
1:09:13	県ノセでございます。
1:09:15	衛藤。
1:09:18	ちょっと気杵機杵まで多分つけてると思うんですけどそれとは別に、そのときは一覧表みたいな形で、
1:09:28	なお、修正した箇所みたいな一覧表。
1:09:32	ただ、余りにも細か過ぎです。同額でこういうのを直しますっていうふうにした上で、さらに、
1:09:39	来あったところは一覧表で立ってあってそれを、
1:09:44	途中上とかその、
1:09:46	別の資料が忘れちゃいましたけど、審査資料としては、お示ししてございます。
1:09:54	わかりましたじゃそれと突き合わせてまたこのか、確認できると。
1:10:00	はい、わかりました。子連れの話。
1:10:08	施設のノダですけど、今のカイダからの確認、関連してくるんですけど、まず、この2-1の11ページの規約の話をも勢さんからいただいたんですけど、
1:10:22	今日サンプルなんで、書かれてないだけかと思うんですけど、
1:10:26	やっぱりこれ黄色がすいません細かい、黄色が何なのかとか、これがいつからの変更点なのかっていうことは多分わかるようにもしかしたら
1:10:36	なっているのかもしれないんですけど、
1:10:38	そこは、
1:10:40	そういう整理の整理というか、体裁の、
1:10:43	覚えてもらう必要があるかなというのと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:47	あとは、ちょっと今カイダから、このボーリング柱状図について、こちの資料2-2のような、
1:10:57	修正前修正後みたいな前後関係みたいな整理ができないのかっていうところで、神谷さんの方から、やっぱりこれは田淵田井のルールが9、
1:11:07	一新してしまったって、多分石井シマダ古井時は肉眼観察以外のことも含めて記載してますし、今回新しく構築されたプロセスではもう皮膚が観察のみで書かれているっていう。
1:11:19	多分そういうことで、御社としてはこういう整理をされてるっていう背景は、
1:11:29	とりあえず聞きおきました。
1:11:32	そういったことも踏まえて、一番初めの質問は、この
1:11:37	どっちですかね。
1:11:42	2-2-2かな、これは。うん。
1:11:45	そうですね。2-2の、5-40ページのこの修正箇所一覧のところ、交流柱状図が含まれてるのか含まれてないのか、ここから始まるんですけど、ただここは、負担的には含まれてないっていう、そういうこと。
1:12:02	後、この40ページのこの修正箇所一覧表には、ボーリング柱状図に係る修正は含まれてない。
1:12:13	てことで、
1:12:14	本社整理されてるっていうことでよろしいですか。
1:12:21	剣持でございます。その通りでございます。
1:12:33	ノダですけど、地上側から何かほかありますか。
1:12:38	あとは、すみませんいろいろ事実確認させていただいてありがとうございます。多分、
1:12:44	今日、
1:12:47	もう1時間ぐらい、事実確認させてもらって、なかなかサンプルだけだと全体像が見えなくて、すみませんこちら余計なことも含めてちょっと
1:12:59	確認してしまってるのかなという気がしてならなくてですね、我々としては、一番
1:13:08	カイダも私も確認したく運転は、更新されたデータがわかるのかというところ、修正箇所の一覧みたいのがあるかどうかっていうところが原点でして、その2点が、今日はサンプルという形なんですけど、
1:13:23	全体、提出いただいたときに、我々が確認できるかどうかというところをちょっと念頭に置いて、今、事実確認させていただいたんですけど、
1:13:35	どうですかね。これもサンプルっていうか、1回、
1:13:40	全体を出してもらって、それ、それを見て、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:49	必要に応じて、また事実確認をした方が、効率的じゃないかと、今日のちょっとやりとりを見、
1:13:58	してて、感じたんですけど。
1:14:01	規制庁側からいかがですか。
1:14:09	あ、相田です。私もちょっと今ので、なかなか、すでにその他の資料にあるんだっていうところをお聞きして、それを見ながらやった方がわかりやすいかなと思います。
1:14:35	規制庁牟田です。
1:14:36	そういうこともあって、
1:14:40	今日サンプルだったんですけど、
1:14:43	医師。
1:14:47	すみません、整理しているとですね、今後のスケジュールはもう先ほどお伝えした通りですし、あと、こちらの調査データのトレーサビリティの確認のための資料については、
1:15:02	一式出してもらった方が、我々としては、余計な事実確認とかをせずに済みますし、
1:15:13	本社の方としても、
1:15:18	省けるんじゃないかと思っているんですけどその点いかがですか。
1:15:24	というのと、あと、
1:15:26	いざその出してもらおうというときに、最短でいつごろ出せそうかっていうことを、2点ですね、ちょっと確認させてもらえればと。
1:15:44	江藤元ノセでございます。
1:15:49	まず、
1:15:51	最短で出せるかっていうところからお答えしたいんですけど。
1:15:57	柱状図
1:16:00	ね。
1:16:01	だけはこう整理されているので、柱状図ルーは元となるデータと、
1:16:07	審査資料中長期と、あとこういうちょっと説明とつけて、
1:16:13	出すといったときには、
1:16:15	ここの、
1:16:17	元のスケジュールで帰った。
1:16:21	ぐらい、1週間ちょっとぐらいです。整理はできるかなと。
1:16:25	あと、2-2も、833回と、
1:16:33	現在ですね7月16日の
1:16:37	頭からの変更箇所をまとめたところの、
1:16:41	を抽出してそのエビデンスをつけて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:46	出すといったところもあわせて、柱状図とこの変更箇所の
1:16:52	エビデンスに関して、そ、あと出せる期間としてはこのスケジュール通りで、
1:17:00	出せると。
1:17:04	考えております。
1:17:09	シート無駄ですけど、すいません。当センター、
1:17:14	例えば、資料2だと補足説明資料5って書いてあってですね、ちょっと全体像がよく、ごめんなさい、理解できてない。これこそ説明資料1から、
1:17:26	4までも別途あって、今野瀬さんがご説明いただいた中には、
1:17:33	そういったものも含めて1週間ちょっとで出せるっていう、
1:17:37	ことでしょうか。
1:17:40	遠藤ノセでございます。この補足説明資料5。
1:17:45	ていうのは、
1:17:47	私から、どこが変わったかって説明するためにまとめたものでございまして、
1:17:54	この補足1から、
1:17:56	4に関しましては、もともとこのK断層の連続性評価の審査を受けるにあたって必要だと思ってました例えば、補足説明資料1だとボーリング柱状図を、
1:18:08	パッケージしたものを作ってございますし、補足2ですと、
1:18:14	阿藤麻生が9分の、
1:18:17	評価に久我ノダ曾我区分の評価をまとめたものを、補足2としてまとめて、
1:18:25	補足3ですと薄片試料に関する断層の区分と演出をまとめたもの。
1:18:32	今回補足を総合評価な曾我君の総合評価っていう
1:18:37	したものをまとめてございまして、ちょっと補足はそれとは別で今までと変わったところの説明をエビデンスとともに説明しようと思って、もうちょっと取りまとめたかと。
1:18:50	いうもので、ちょっと今回それをちょっと抜粋っていう形で、
1:18:55	使用させていただきます。
1:18:56	いただいております。
1:18:58	霜田です。そうすると、調査の詳細データのトレーサビリティの確認という観点で言えば、この今日サンプルでお持ちいただいたこの資料2-1、これが柱状図になっていて、あとはそれ以外のところが、この2-2の、
1:19:15	2-2のこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:17	ただこれ、2-2が、中身見ると、
1:19:21	同1ポツと2ポツになってるんですけど、純粹にその取り下げっていいの か。
1:19:27	確認という意味でいうと、2ポツだけになるってということですか。1発 は関連して、ちょっとすいません。その辺が、
1:19:36	上手く頭の中私の頭ん中を整理できていないんです。1ポツはこれは、
1:19:41	何も、
1:19:44	1ポツは、ごめんなさい、端的にですね、1ポツ名取さビリティの各確 認に、
1:19:50	関係してますかしてませんか。
1:19:55	原理ノセでございます。
1:19:57	この1ポツはですね6連でこう並べたりとかしたときに、
1:20:05	柱状図の中で走向傾斜とかあの辺テストが書いてまして、その中で数値 が間違っていましたとか、あと言ってるんですけど、
1:20:17	ちょっと会話の中で、誤記だからといってそれで直しましたじゃなくて ちゃんとエビデンスもそろえて、
1:20:26	説明してくださいってあってそれを、
1:20:30	整理してす。エビデンスもつけた。
1:20:36	一覧になってるのが1ポツになってございますので、
1:20:40	ちょっとこれ、1ポツちょっと読ませて865回以降に抽出した。
1:20:47	審査資料に係る後期
1:20:51	があって、そのうちの今回の10本のところを一覧表でまとめました。
1:21:03	きちっとノダですけど、
1:21:05	同じ質問で恐縮と、この調査データのトレーサビリティの確保っていう のはあくまでも2ポツであって、一発は関係。
1:21:14	ないっていう。
1:21:17	もし補足があればお願いします。
1:21:22	申し訳ない。今日はできるだけテーブルという形で来てしまって、いろ いろ持ってきたらあれなんですけど、もうちょっと確認はしますけど も、
1:21:30	基本的にはトレーサビリティの確保っていうことでは、柱状図そのもの 以外は2ポツの方で、変更箇所はカバーできると思います。一応ちょっ と1ポツの下にもう1回確認をしたいと思いますが、柱状と地震は、
1:21:44	さっきやりとりさせていただいた通りなかなか高規格という形で竣工示 しするのが、もし難しいので、今日の2-1のようなサンプル
1:21:54	で今日お持ちした、そういう
1:22:01	規制庁牟田です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:22:03	何となくわかってきましたけど、仮にすいません先ほどの一番私が、
1:22:09	確認したかった。
1:22:13	埼玉にいつ資料を出せるんですかと言われた時には、例えば2-2はこの2ポツだけじゃなくて、1ポツも含め、
1:22:23	御社は、出すことを考えられているのか、もしくは今私は、調査データの取りさ引きの確認のための資料っていうことですか。
1:22:34	ちょっとお聞きしたので、それを踏まえると、理屈だけを出されるのか、そと違う。
1:22:41	これから検討されるんですか、確認の上で、ちょっと。
1:22:44	もし今お答えできるのであれば。はい。原電の神谷ですけども、ちょっとまた確認をしないといけないと思います。基本は2ぽつかなど。前回の面談の時に、
1:22:56	ノセの方から、
1:22:58	変更トレーサビリティの確保によって変更になったところの、エビデンス類も含めてということよろしいでしょうかという確認をさせていただいたので、
1:23:10	この2ポツのこのリストベース。
1:23:13	かなと考えております。
1:23:18	規制庁野田です。はい。
1:23:23	さらに理解は深まったんですけど、やっぱりちょっと実際にもう物というか、サンプルだけだと、ちょっと眼底的な情報なんで、何とも今、確定的なことを申し上げられないんですけど、
1:23:35	少なくとも、そうですね。
1:23:41	やっぱり1回そういった形で資料を出していただければと思いますし、
1:23:47	その先のその審査会合っていう観点でいうと、
1:23:51	ちょっと管理課とも話をしてきたんですけど、
1:23:56	とりあえず、
1:23:57	次々というか、審査会合の資料として、我々がイメージしているのは、こないだ提出していただいた資料番号で言うと、資料1、
1:24:07	改善したプロセス及び実施体制について、
1:24:11	これと、あとは、今ちょうどやりとりさせていただいたこの資料2-1と資料2-2、多分この辺が、調査データのトレーサビリティの確認のための資料ということで、
1:24:25	ボーリング柱状図と、あとはそれ以外のデータの修正箇所ということ、あとは、冒頭にあったし、ごめんなさい、今日の資料番号で言うと、資料1、9でいうと、
1:24:37	3になっている、今後のスケジュール、スケジュール、多分この3点セットかなと思っていますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:47	資料1はもう多分、資料1のごめんなさい、プロセスと体制は、多分もうこれできているんで、多分これは、
1:24:55	いいですし、スケジュールは冒頭にちょっとお話したんで、お伝えすべきことはお伝えしましたので、あとだからこの資料、2-1と2-2ですかね。
1:25:08	法令、
1:25:10	これがそうか、また掲載問題ってのがあるかな。これが、体裁が整って、
1:25:17	だから2-1はととてもにも1、2-1-2-2ももう体裁が整っていて、1週間ちょっとで、
1:25:26	1000、
1:25:27	もしくは、
1:25:28	体裁を整えたものを1週間ちょっとで出せる。
1:25:31	ちょっとこの辺のスケジュール感を確認させてもらっていいですか。
1:25:40	まず現在のカミヤですけども、
1:25:43	まず、2-1の方の柱状図に関しては、今日サンプルということなので、ある特定の破砕部だけをフォーカスした形で、
1:25:55	サンプルとしてお持ちしました。ここについてるものってのは、結局、元となるデータとか、とも異なるデータを確認した結果であると。
1:26:05	ちょっと報告書柱状図と言い方しますけどそういうものとか、最終的には審査資料柱状図と、それぞれのもがありますので、そういうものを、
1:26:16	用意するのは、もう何かもう、
1:26:20	南部用意するかっていう時間だけの問題かなというのが来てあります。それから、2-2の方はですね、あくまで、
1:26:29	検査の時までに、その中身の審査をするためにっていうことでこれ補足説明資料5という形でまとめていたものなので、
1:26:40	多少、この
1:26:42	特にこの先ほど確認しますって言ったこの2ページ目ですね、1ページ目のこの1ポツ2ポツとかの関係、ここはちょっと確認するにしても、
1:26:52	2ポツベースで、このデータ変更箇所のエビデンスをつけた一式にするっていうことについては、1週間ちょっとぐらいで、
1:27:01	後ろにつけて、今日はサンプルだけでしかつけてませんが先ほど全体で70ヶ所ぐらいということのものを後ろにつけるといってことであれば、それはそんなに、
1:27:14	時間かからない。
1:27:17	ということです。
1:27:18	行けるかなと思います。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:23	そういう程度の、そういう感じのお化粧をするというかですね、技術的資料そのものもですねこれは例えば机上参考資料として意識を置いておくとか、そういう、
1:27:36	形でももちろんそれは時間がかかるものじゃないですし、はい。
1:27:45	カイダカイダ、今おっしゃった資料がちょっと冒頭に、
1:27:50	全部で1000、1100から1000何ページっておっしゃったんですけどそれぐらいになるっていう、そんなイメージ。
1:28:04	はい、監物でございます。
1:28:07	そうですねこのボーリング柱状図
1:28:11	本元となるデータここ4種類ございますが、これを全部こうやって、
1:28:19	1100ページ、
1:28:21	ぐらいになる。
1:28:22	こっちは
1:28:25	200ページぐらい
1:28:27	200、200もらいぐらいですかね。2-2の方の、
1:28:31	ここは200万円ぐらい。
1:28:34	になります。
1:28:36	はい。以上です。
1:28:40	はい。わかりました。それで、
1:28:44	その中に何か変更箇所と、
1:28:50	エビデンスみたいなのはなくてとりあえずその変更箇所を整理したような形のものってということなんですか。何かエビデンスみたいなものも入ってくるんですか。
1:29:02	元のノセでございますこの2-2の方の話でございます。
1:29:09	衛藤。
1:29:11	エビデンス案をこの5ページ以降、
1:29:14	何とかのエビデンスってついていると思うんですけど、それもあわせて、この一覧表、この4ページ目の一覧表が数枚あってそこに、
1:29:25	この4ページに、すいませんエビデンス資料ってこう書いてるのを、その後ろにセットして、その一式が、
1:29:34	200ページ弱ぐらい。
1:29:37	他に、
1:29:39	はい、わかりました。
1:29:46	伊勢野村です。長時間にわたっていろいろと確認させていただいてありがとうございました。多分もう、繰り返しになるんですけど、
1:29:56	1カイダ出してもらった方がですね、効率的かなと思いますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:04	彼、彼があそこにあります、
1:30:07	今日 11 月の 11 日で、
1:30:14	どうすかねカイダ 38 と本当は 18 とか、
1:30:19	みたいところですけど。
1:30:21	さっき野瀬さんから 1 週間ちょっとって話があって、
1:30:26	21 とか 22 とか、
1:30:32	いかがですか
1:30:34	25 週の前半、23 がちょっと休みになってるんで、
1:30:39	21 とか 22 とか、このあたりをターゲットに、資料を準備していただいて、
1:30:51	そうか。
1:30:53	でも、
1:30:54	質問して確認しないといけないからそのシールどっかで面談する面談かヒアリングするのかなあ。
1:31:03	すみません、独り言のようになってしまったんですけど、いかがですか
1:31:06	整理すると 20 日の前半で資料をご提出いただいて、必要に応じて、後半で、
1:31:16	ヒアリング関連なんか、
1:31:18	ちょっと形態は考えますけど、できればと思っているんですけど、
1:31:24	为什么呢。
1:31:30	現在のノセでございます 20 日の週の前半であれば、用意できると思います。
1:31:39	はい、ありがとうございます。その時にご用意いただきたいのが、
1:31:46	4 点あるのかな。都合 4.1 点目は、資料 1 ということで今後の説明スケジュールで、資料 2-1 ということで、トレーサビリティの 1、ボーリング柱状図。
1:31:58	資料 2 と 2 として、トレーサビリティのうち、修正箇所一覧表と、あとそのエビデンスが後ろについてきた 200 ページもですかね。あとは、
1:32:11	ごめんなさい。その冒頭にあるんですね、改善した後プロセスと実施体制、これが一番初めですかね順番で言うと、この後に、
1:32:21	そうですね、トレーサビリティが二つあって、最後が、会合スケジュールっていうか会合資料という意味でいうと、最後にスケジュールか、こういう流れかな。
1:32:31	私はそのように考えておるんですけど、御社の方で何か
1:32:39	確認、
1:32:40	県とか、よろしいですか。自分とこありましたらお願いします。
1:32:47	現在のカミヤですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:48	やっぱりそういう、
1:32:50	今回の
1:32:52	まず、今回、
1:32:53	確認いただくデータが、
1:32:55	確認お出ししたデータの中で、どういう範囲なのかっていう資料を、やはりお示した方がいいかなと思っていて、例えばボーリング柱状図であると。
1:33:08	68本のうちの10個ですと、この10個ってのはこういう目的のためのものですみたいな形のものを、
1:33:14	将テプラ回収とそれは残りがどういうものが残ってるかっていうことにもなるんですけども、
1:33:21	それをちょっと見取り図的にやはり最初にですね、柱状図とかデータの変更箇所の前でそれをちょっとご説明した方が、
1:33:32	理解し合うのにいいかなと思ってんですけどいかがでしょうか。
1:33:37	規制庁野田です。ありがとうございます。まさに私が次にお願いしたかったのは、今日いただいた資料としてはそうなんですけど、まさに神谷さんおっしゃる通り、今日もそうですけどちょっと全体像が見えて、
1:33:51	いなかったり、あとは、各資料で、機転が違ったり、その整理、データの整備の考え方が違ったり、そういったところでちょっと無駄なやりとりが増えてしまったので、私もおっしゃる通りで、そういう、
1:34:05	全体像とか、この中で、
1:34:09	データというか、資料ですね、資料の整理の考え方っていうのは、示していただかないと、また、ちょっと年代ヒアリングをやった時とか、あとは、審査会合でちょっと不必要なやりとりができてしまうと出してしまうと思うので、
1:34:24	そこはぜひ、我々としても、お願いできればと思いますし、ご提案いただいてありがとうございます。
1:34:33	はい。辨野カミヤです。ありがとうございます。検査の時に用意したというそのものじゃなくてですね、今のような目的のものに少し化粧直しているかですね、その目的に合致した形でおわか分かっていて、お示しできるようなものにですね、
1:34:51	用意したいと思います。
1:34:58	はい、規制庁野田です。
1:35:01	これで事実確認であったり、あとは、今後の審査会合に向けての資料の構成であったり、
1:35:11	あとは、資料をご提出いただく。あとは、そのあとに、
1:35:16	面談ヒアリングをやるタイミングが確認できたかと思うんですけど、規制庁側で何か追加で確認しておきたいこととかありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:30	あと、
1:35:31	皆さんの方で何か、
1:35:33	追加で確認とか、
1:35:41	何か追加あれば、また、
1:35:45	私のところを電話いただいてもいいですし、もしかして逆にすみません こちらの方から、
1:35:51	確認だったり、追加っていうのあんまないと思うんですけど、ちょっと ご連絡することがあるかもしれないんですけど、なるべく
1:36:01	効率的かつ手戻りがない形で、お互いやっていた方がいいかなと思いま すんで、ちょっと今日は面談という形ですけど、また何かあれば、遠慮 なくご連絡、私の方にですね、ご連絡いただければと思います。
1:36:18	はい。
1:36:19	ただ、よろしい。よろしいですか。
1:36:22	じゃあ、本日の面談、これで終わりにしたいと思います。どうもありが とうございました。
1:36:29	ありがとう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。